

児童の実態

本学級の児童は、国語が好きな児童が多い。特に音読が得意で、姿勢や声の大きさを意識して読むことができる児童が多い。「話すこと・聞くこと」に関しては、話す活動の際、ペア活動やグループ活動を通して、誰とでも分け隔てなく話すことができているが、話したい事柄の順序を考えながら話している様子はあまり見られず、相手に伝わるように意識している児童は少ない。「はじめに」「次に」「終わりに」といった、事柄の順序を表す言葉を使っているが、自身が最も話したい内容を組み立てることが苦手な様子が見られる。1学期の市販テストでは、「話すこと・聞くこと」の領域では、聞き取った内容から、面白いと思ったことや驚いたことを書く問題の正答率が低く、正しく聞き取ることが十分に身に付いていない。

単元デザイン

本単元は、学習指導要領における〔思考力、判断力、表現力〕の「A 話すこと・聞くこと」の(1)イ「相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。」を重点指導事項とし、相手意識や目的意識を明確に持たせ、話す内容をメモによって整理し、「はじめ」「中」「おわり」の組み立てで話す力を身に付けさせたい。また、学習の際には、〔知識及び技能〕の(1)イ「音節と文字の関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。」に十分留意し、話す内容を基に、姿勢や発声、発音などの話し方も重要であることを学べるようにする。話す際には、聞き手のことを念頭に置いて、話の構成や話し方を考えることができる力を育てていきたい。

第一次では、モデルとして教師が宝物を紹介することで、自分の宝物をみんなに紹介するという単元の具体的なゴールイメージを持てるようにする。また、これまでの学習を想起し、対話を通して互いの話に関心を持ちながら話す良さを確認し、宝物の紹介に向けて単元計画を考え、本単元の活動へ意欲を持たせる。第二次では、イメージマップを用いて、宝物を思い浮かべる。宝物が思い浮かばない児童は、自分が好きなものは何かを考えるようにする。次に、宝物について考えたイメージマップを基にペアで質問し合っ、宝物の様子や気に入っているところ、宝物にまつわる思い出などをメモ書きしていく。そして、「はじめ」「中」「おわり」の組み立てを考え、どのような順序で話すか決めていく。話す内容や順序が決まったペアから、紹介する練習に進み、児童同士で聞き合ったりタブレットで動画を撮ったりしながら、自分の話す様子を振り返り、相手に伝わる話し方になっているか、「はじめ」「中」「おわり」の内容の順序は適切かなど、改善しながら練習をしていく。第三次では友だちに自分の宝物について紹介し、自分の話し方について良かったことや気を付けたことを振り返る。考えたことや気付いたことを、自分たちの「言葉の力」として実生活や様々な場面で活用できるように、教室内に掲示する。

研究主題に迫る手立て

安心できる学級・学校づくり ～生徒指導の三機能を生かし、子どもの主体性を育てる～

- 【自己決定】自分の宝物の思い出や経験について、自分の考えを持つことができるようにするために、思考ツールを使用する。
- 【自己存在感】自分の宝物について色や形、思い出や経験したことを紹介するために、ペア対話を仕組む。
- 【共感的人間関係】相手の宝物に対し、相手の話を受け入れることができるようにするために、相手を受け入れる言葉を使ったり質問したりしながら話を聞く。

たからものをしょうかいしよう(全7時間)

学習過程	【学習計画】	【話題の設定 情報の収集 内容の検討 構成の検討 考えの形成】	【表現 共有】
学習活動	①教師の宝物の紹介を聞いて、単元のゴールイメージを持つ。 ・学習の見通しを立て、宝物について思い浮かべる。	②イメージマップをつかって宝物を思い浮かべる。 ③対話を通して、宝物について話す内容を選ぶ。(本時) ④宝物について話すために整理した内容を基に、話す内容を組み立てる。 ⑤ペアで聞き合いながら、発表の練習をする。 ⑥タブレットで動画を撮り、発表の様子を振り返る。	⑦全体で発表する。 ・自分の発表の良かったことを振り返る。
言語活動	自分の宝物について伝えたいことを友だちに紹介する。		
思考力	経験したことや思い出を基に、自分の宝物について何をどのような順序で話すか考える。		

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 【(1)イ】	・「話すこと、聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝えあうために必要な事柄を選んでいる。【A(1)ア】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。【A(1)イ】 ・「話すこと、聞くこと」において、伝えたい事柄に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。【A(1)ウ】	・これまで学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで話す事柄の内容や順序を考えて声の大きさや速さに気を付けて、自分の宝物を紹介しようとしている。

単元の主な資質・能力

1・2年

身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝えあうために必要な事柄を選ぶ。

単元の目標

【知識及び技能】

・音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声に注意して話すことができる。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる【A(1)ア】
- ・相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。【A(1)イ】
- ・伝えたい事柄に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。【A(1)ウ】

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

本単元終了時の目指す児童像

紹介したいことを「はじめ」「中」「おわり」に組み立てて、声の大きさや速さに気を付けて話す姿。

3・4年

目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。

5・6年

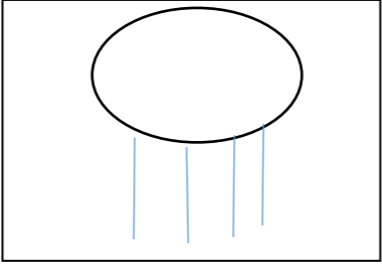
目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えあう内容を検討する。

中1年

目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討等する。

2-2 **本時の目標** 自分の宝物について、話す内容をくわしく考えることができる。

本時における見方・考え方 経験したことを基に、宝物についての様子、気に入っている理由、その思い出などの話す内容を考えている。

<p>学習の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前時の振り返り 2. めあてを確認する 3. 宝物について質問し合う ⇒ペア活動。 4. 宝物について書き出す。 5. 振り返り 	<p>振り返り</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">教師の見本</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">たからものについて書こう。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなしつもんをしてみよう。 ・どんなもの？ <ul style="list-style-type: none"> ↓ ・色 ・形 ・さわった感じ <ul style="list-style-type: none"> ・どんなところが気に入っている？ ・どんな思い出がある？ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて たからものを思いうかべて、どんなことを話すか考えよう。</p> </div> <p style="text-align: right;">たからものをしようかいしよう</p>	<p>評価</p> <p>【思考、判断、表現】 ・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝えあうために必要な事柄を選んでいる。</p> <p>【A(1)ア】</p> <p>B評価 自分の宝物について話すことを選んで書いている。</p> <p>A評価 自分の宝物について、話すことをより詳しく考え、選んで書いている。</p>
---	--	--

つかむ・見通す

解決活動

まとめ・ふり返り

◆前時を振り返る。
T: 前の時間にどんなことしたか覚えていますか?
C: 宝物について考えた。
マップを使って考えた。
T: じゃあ、もうこれだけでみんなの前で宝物について紹介できそうですか?
C: できそう。
まだちょっとできない。
もっと詳しく話したい。

◆めあてを確認する。

◆宝物について詳しく聞くために、質問の内容を確認する。
T: みんなの宝物についてどんなことを聞いてみたいですか?
C: 色、形、さわった感じ。
どんなところが気に入っているか。どんな思いがあるか。

◆ペア対話から、宝物について質問し合いながら、考えを広げる。
C: 私の宝物は犬のぬいぐるみです。
C: どんなところが気に入っているの?
C: ふわふわして、さわり心地がいいところが気に入っているよ。
C: どうして好きなの?
C: いつも一緒に寝ているから。
T: 友達と質問し合ってみてどうでしたか?
C: くわしく開けた。
話したいことが出てきた。
自分の宝物について考えることができた。
T: 今友達と話したことを使って、宝物について詳しく書きましよう。
※質問されたことの中から伝えたいことをメモする。
※ペア交代で活動する。

◆ペアで話したことを基に宝物について思考ツールを使って考えをまとめる。
C: さっき思い出した、思い出について話したいな。
C:気に入っているところ伝えたいから書こうかな。

◆本時の振りかえりをする。

◆次回予告
次の時間では、話す内容を「はじめ」「中」「おわり」の組み立てで、考えてみましょう。

